2026年度

慶應義塾大学理工学部
分野志向型入試（旧AO入試）募集要項

Keio University

1858

CALAMVS GLADIO FORTIOR

慶應義塾大学理工学部

個人情報の取扱い

慶應義塾では個人情報の取扱いに際して「慶應義塾個人情報保護基本方針」および「慶應義塾個人情報保護規程」を遵守し、適正かつ安全に管理します。

出願、入学手続ならびに入学後にお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、慶應義塾各部門におきまして、① 入学試験実施（出願処理、試験実施、合格発表）、② 入学手続、③ 学事（学生が関与する学術研究活動を含みます。）に関する管理、連絡および手続、④ 学生生活全般に関する管理、連絡および手続、⑤ 大学内の施設・設備利用に関する管理、連絡および手続、⑥ 寄付金、学校債、維持会および慶應カードの募集等に関する連絡、⑦ 本人および保証人宛に送付する各種書類の発送その他の連絡、⑧ 三田会（同窓会）に関する書類送付とこれらに付随する事項を行うために利用します。また、個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータは、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。

上記の業務は、その一部を慶應義塾より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」といいます。）において行います。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

また、慶應義塾では三田会（同窓会）活動を支援する一環として、卒業後も三田会（同窓会）から要請があった場合は、所定の手続および審査の上で必要な範囲内において個人情報を提供することがあります。

その他、法律上開示すべき義務を負う場合や、学生本人または第三者の生命／身体／財産を保護するために必要であって本人の同意を得ることが困難な場合など、法令上の例外事由に該当する場合には、第三者に個人情報を開示することがあります。

慶應義塾は、以上の場合を除いて、同意なく、個人情報を第三者に開示いたしません。

なお、学生の学業成績表は保証人にも開示いたします。これは、学生の自律性を尊重しつつも、保証人の方に学生の学修状況をご理解いただきたいからにほかなりません。

各手続にお進みいただいた場合には、以上の点にご同意いただいたものと取り扱わせていただきます。予めご了承ください。

・慶應義塾個人情報保護基本方針および保護規程
https://www.keio.ac.jp/ja/privacy-policy/

安全保障輸出管理

本学は、学生への教育・研究内容が国際的な平和および安全の維持を妨げることが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理（国外への貨物・技術の持ち出し・送付等、および国内での外国人等（外国人研究者・留学生等）への技術提供について、経済産業大臣の事前許可が必要かどうかの事前確認を含む）を行っています。それにより、希望する教育が受けられない場合や、研究ができない、または、希望する教育・研究内容の変更を求められる場合があります。

※安全保障貿易管理の詳細については、経済産業省のウェブサイトを参照してください。

https://www.meti.go.jp/policy/anpo/

大規模自然災害（災害救助法適用地域等）被災地の受験生に対する特別措置

本学では、大規模自然災害による被害が生じた場合、被害を受けた受験生の方々に対し、経済的な面で支援を図るため、被災の状況を考慮して、それに応じた特別な措置を講じることがあります。その際の手続の詳細および申請書等は、慶應義塾大学ウェブサイト入学案内ページの経済支援制度に掲載しますので確認してください。

https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/exemption/

国による「高等教育の修学支援新制度」における授業料等減免

国による「高等教育の修学支援新制度」（2025年度からの多子世帯支援を含む）における支援対象となる方は、入学金および授業料等が減免となります（上限あり）。入学に必要な費用は入学手続時に通常どおり納入する必要がありますが、所定の手続をとることにより、入学後に返金となります。詳細については塾生サイト「国による高等教育の修学支援新制度」のページをご確認ください。

https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/tuition/reduction.html

なお、本制度は日本国籍を有する者のほか、特別永住者や永住者等が対象となります。対象者については以下の日本学生支援機構の給付奨学金案内を参照してください。

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/tebiki/daigaku_etc.html

目　　次

ページ

Ⅰ　理工学部分野志向型入試について …… 3

Ⅱ　入学試験概要 …… 4
1. 募集学科・募集人員 …… 4
2. 試験日程 …… 4
3.「求める学生像」ならびに「入学後の特色ある学び」 …… 4

Ⅲ　出願 …… 6
1. 出願資格 …… 6
2. 出願期間と出願方法 …… 7
3. 入学検定料の支払い …… 7
4. 入学検定料の返金 …… 7
5. 出願に必要な書類 …… 9

Ⅳ　選考・合格発表 …… 11
1. 選考方法と日程 …… 11

Ⅴ　入学手続・入学に必要な費用 …… 15
1. 入学手続期間と入学手続 …… 15
2. 入学に必要な費用 …… 15

Ⅵ　奨学金・経済支援制度 …… 16

Ⅶ　キャンパス案内図・問い合わせ先 …… 17

Ⅰ　理工学部分野志向型入試について

慶應義塾大学理工学部は、一般選抜も含め、多様な入学形態を通して、学業・人物ともに優秀な生徒を受け入れてきました。その中でも、分野志向型入試（旧ＡＯ入試）制度の目的は、自らの興味から進んで行っている自己研鑽活動に加え、一定水準以上の学業成績をおさめ、明確な志望動機をもっており、慶應義塾大学理工学部を第一志望とする者を対象とする入試制度としています。特に、学問分野への興味の強さを重視した募集を学科別に行います。高等学校在学時に勉学・課外活動などで研鑽を積みつつ、理工学部に入学後、他の学生の範となることが強く期待される者に入学を許可します。

選考は原則として書類選考、論理的な思考を問う総合審査、面接試験の三段階で行われます。書類選考によって優れた学業成績や課外活動による研鑽が認められた志願者に対し、筆記ならびに記述試験による論理的な思考を問う総合審査が行われ、その結果を踏まえて面接試験に進める志願者が決定されます。面接試験では、論理的思考の確認に加えて、希望する学問分野に対する旺盛な知的好奇心と探究心、豊かで柔軟な発想力、といった資質を備えているかを十分な時間をかけて審査します。

以上、本制度の主旨と選考方法をよく理解のうえ、情熱と意欲をもって勉学や諸活動に取り組んできた皆さんが出願してくださることを歓迎します。

理工学部長　　村上　俊之

Ⅱ　入学試験概要

1.　募集学科・募集人員

2026年度入試において志願できる学科は以下のとおりです。

本入試制度による入学者は第１学年から学科に所属し、学科に設定されたプログラムを活用することができます。なお、学科の併願および入学後の学科の変更はできません。

学　科	募集人員
電気情報工学科	最大10名程度
数理科学科	最大10名程度
化学科	最大４名程度

2.　試験日程

出願期間　　：2025年９月29日（月）～ 10月２日（木）
第１次選考合格発表：2025年10月24日（金）
第２次選考　　：2025年12月６日（土）
第２次選考合格発表：2025年12月６日（土）
第３次選考　　：2025年12月７日（日）
第３次選考合格発表：2025年12月12日（金）

3.　「求める学生像」ならびに「入学後の特色ある学び」

学　科	求める学生像	入学後の特色ある学び
電気情報工学科	・ハードウェアおよびソフトウェアの両方を組み合わせたエレクトロニクスシステムに強い興味を持っている人 ・数学、物理（電気回路、電磁気）、情報などの科目を深く学習する意欲がある人 ・上記の科目に基づいてデバイス・レーザー・半導体・画像処理・通信・人工知能・量子技術・数学を応用したシステムなどの技術分野において高度情報社会を先導する意思がある人	・教員による学習サポート制度の活用 １年次から電気情報工学科２年生のために設けた学科内の制度を活用できる。各教員が少人数の学生の相談員となる。学習上の課題だけでなく生活面も含めて相談を受け付け、必要に応じて理工学部内の適切な窓口や専門家への橋渡しを行う。学問的興味に応じて研究室見学の設定や専門図書などを紹介する。適宜懇親会などを開催し学生間の交流を図る。 ・講義への早期参加 ２年生科目である「電気情報工学セミナーⅡ」を先取りし、電気情報工学科の各教員が提示する課題を少人数グループで取り組むプログラムに２年生と共に参加できる。このプログラムにより研究室で行われる研究開発の基礎や、それに関連する課題について体験的に学ぶ。 ・分野志向型入試入学者の交流の場形成と活用 学科別分野志向型入試の入学者同士の交流の場（電気情報工学、数理科学、化学）に参画できる。

学　科	求める学生像	入学後の特色ある学び
数理科学科	以下のいずれかを満たし、優れた学修成果が見込まれるもの ・数学がとにかく好きな人 ・数学の理論を奥深くまで追究したいと思う人 ・数学の応用や研究で、何かを成し遂げたいと思う人 ・現実の問題を数学で解決する能力を身に付けたい人 ・数学を通じて世界的に活躍したいと思っている人	・教員による学習サポート制度の活用 １年次数学科目を担当する数理科学科の教員による相談員制度を活用できる。 ・動機付け企画の活用 少人数セミナー、夏季集中講義や研究室見学を通して、数理科学の先端分野に早くから触れる機会が得られる。 ・矢上施設の早期利用 １年次から矢上キャンパスの数理科学科図書室やコモンルーム（学生、教員が気楽に議論、談笑する学科内スペース）などの設備を利用することができる。 ・分野志向型入試入学者の交流の場形成と活用 学科別分野志向型入試の入学者同士の交流の場（電気情報工学、数理科学、化学）に参画できる。
化学科	・化学が好きで、今後も化学、および化学に関連した学問を探求していく強い意志がある人 ・化学はもちろん、理工学部の設置科目に対して学習意欲があり、学修成果が期待できる人	・教員による学習サポート制度、学生によるサポート制度を活用できる。 ・講義への早期参加 １年次からチュートリアルアワー（数学、物理学、情報学、（化学））を活用できる（化学以外の科目の学習支援）。１年次から化学セミナー、輪講、論文紹介の機会が得られる。 ・動機付け企画の活用 １年次から研究室見学、ラボツアー、研究室連携の機会が得られる。勉学意欲に応じて２年生以上の科目（学科専門科目）が聴講可能。化学特別講義（学部４年生開講科目）の聴講の機会が得られる。 ・分野志向型入試入学者の交流の場形成と活用 学科別分野志向型入試の入学者同士の交流の場（電気情報工学、数理科学、化学）に参画できる。

Ⅲ　出　　願

1.　出願資格

以下の⑴～⑸の条件をすべて満たすことが必要です。

⑴　慶應義塾大学理工学部での勉学を強く希望し、明確な目標をもって、本学部を第一志望とする者。

⑵　高等学校在学中あるいはそれに相当する課程の期間中に、勉学・課外活動などで研鑽を積み重ねてきた者。特に、希望する学科の分野に関連して、深い興味を持つに至る探求（より深く理解している科学技術の内容や科学技術系コンテストの実績など）を行ってきた者。

⑶　次のいずれかに該当する者。

①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む）もしくは中等教育学校を2026年３月卒業見込みの者。

②　高等専門学校の第３学年を2026年３月修了見込みの者。

③　外国において、学校教育における12年の課程を、2025年４月１日以降、2026年３月31日までに修了（見込み）の者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。

④　我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を、2025年４月１日以降、2026年３月31日までに修了（見込み）の者。

⑤　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を、2025年４月１日以降、2026年３月31日までに修了（見込み）の者。

⑥　文部科学大臣が指定した者（昭和23年文部省告示第47号）のうち、国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、COGNIA、COBIS）の認定を受けた外国人学校の12年の課程を、2025年４月１日以降、2026年３月31日までに修了（見込み）の者。

⑷　調査書記載の欠席日数の合計が30日を超えないこと。

⑸　履修科目については以下のすべての条件を満たしていること。

①　高等学校第１学年第１学期から第３学年第１学期まで（２期制の場合は第３学年前期まで）に履修したすべての教科・科目の「全体の学習成績の状況」が**4.1以上**（小数点以下第２位を四捨五入）であることが望ましい。

②　次の科目をすべて履修し、各科目の評定がそれぞれ**4以上**であることが望ましい。

教科　数学（以下の６科目の合計が15単位以上）
数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ

教科　理科（以下の４科目の合計が12単位以上）
物理基礎・物理・化学基礎・化学

③　外国語については、英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡを含み、英語科目で合計14単位以上を修得していること。英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡを修得した上で、不足分の単位を英語以外の外国語で充当したい場合はご相談ください。

（注１）⑸②または⑸③のすべての科目内容を、別の名称の科目により修得している場合には、出願を認めることがあります。

（注２）⑸③を満たせないが、同等以上の外国語の能力があることを証明することができる場合には、出願を認めることがあります。

（注３）高等学校以外に該当する者の成績評価に関する要件は、出願資格⑸に準じます。高等学校の場合と同様に、一定の成績評価基準を満たしていることが求められます。調査書の提出が難しい場合など、出願資格や評価換算方法等についてはアドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

身体の機能の障害により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、出願期間最終日の１ヶ月前までに必ずアドミッションズ・オフィスに問い合わせてください。

2.　出願期間と出願方法

出願期間　2025年９月29日（月）～ 10月２日（木）（締切日消印有効）

出願に必要な書類の提出は郵送に限ります。印刷した封筒表紙を貼付した角形２号（角２）封筒を使用し、上記期間に速達・簡易書留扱いでお送りください。書類を受理した場合は、第１次選考合格発表日までに受験票を交付（郵送）します。10月24日（金）までに受験票が届かない場合は、アドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

3.　入学検定料の支払い

入学検定料　　35,000 円

入学検定料は2025年９月28日（日）より日本国内のコンビニエンスストアで支払うことができます。次のページを参照し、手順に従ってお支払いください。なお、支払いのキャンセルはできませんのでご注意ください。

お支払い後に、「収納証明書」を入学志願者調書の所定欄に貼付してください。

※コンビニエンスストアでの支払いについて問い合わせる場合は、下記サポートセンターへお願いいたします。

イーサービス サポートセンター（出願期間は毎日24時間対応） TEL　0120-977-336　　https://e-shiharai.net/

4.　入学検定料の返金

納入した入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

入学検定料の返還請求ができる場合

Ａ．入学検定料を納入したが、本学に出願しなかった（出願書類を送付しなかった）場合

Ｂ．入学検定料を納入したが、本学に出願が受理されなかった場合

Ｃ．入学検定料を誤って二重に納入した場合

上記 A および C にあてはまる場合、2025年10月24日（金）までにアドミッションズ・オフィスにご連絡ください。

慶應義塾大学 理工学部 分野志向型入試
コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で24時間いつでも払い込みが可能です。

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

https://e-shiharai.net/

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行なわず、
もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

2 コンビニでお支払い

●入学検定料はATMでは振込できません。必ずレジでお支払いください。
●店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

セブン-イレブン

【払込票番号（13ケタ）】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

ローソン・ミニストップ

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Loppi へ
各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付（紫のボタン）
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】【確認番号】を入力

ファミリーマート

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

マルチコピー機 へ
代金支払い
番号入力画面に進む
【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料　取扱明細書」を受け取ってください。

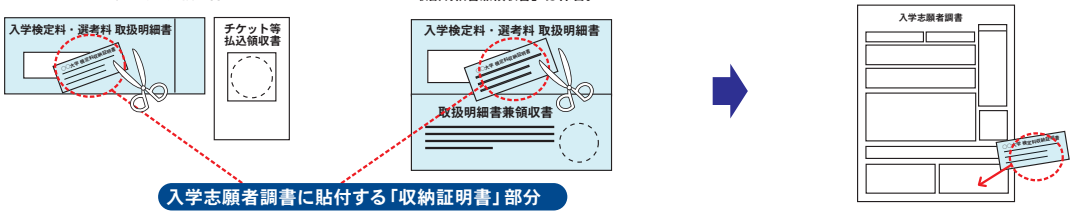
3 出　願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願者調書の所定欄に貼る。

●セブン-イレブン　●ファミリーマート
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。「チケット等払込領収書」は保管。

●ローソン　●ミニストップ
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。「取扱明細書兼領収書」は保管。

切り取った「収納証明書」を入学志願者調書の所定の欄に貼付。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

■注意事項

●出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
●支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。
●一度お支払いされた入学検定料は、店頭では返金できません。
●取扱いコンビニ、支払い方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。
●入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。(全コンビニ共通)

「入学検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはサイトでご確認ください。

https://e-shiharai.net/

5.　出願に必要な書類

出願に必要な書類は以下のとおりです。一度提出した書類は返却しません。

提出した書類に、事実と異なる記載があることが判明した場合や、その他入学に不適当と判断される事実が判明した場合は合格を取り消します。

提出書類	所定用紙	記入方法等
1．写真票	①	縦４cm ×横３cm、無帽、上半身正面、背景のないもので、最近３ヶ月以内に撮影した鮮明なカラー写真（スナップ写真不可）を写真貼付欄に剥がれないように貼ってください。A4サイズのまま提出してください（枠線に沿って切る必要はありません）。
2．志望理由書	②	**※原本１部および原本と同一サイズのコピー４部、左上ホチキス留め** 慶應義塾大学理工学部を強く志望する理由および入学後に、どのような分野・テーマについてどのように学び、どのような夢・希望を実現したいと考えているかを、分野に応じて以下の点を踏まえ、2000字以内にまとめてください。（自筆、横書き、日本語で記入） （電気情報工学科） 電気情報工学の分野に関連して深い興味を持つに至った理由や、どのような夢・希望を実現したいと考えているかなどを具体的に記載してください。 （数理科学科） 数理科学科が求める学生像を踏まえ、自分の数学への思い・情熱を具体的に記載してください。 （化学科） 化学に関わる活動があれば、併せて言及してください。
3．入学志願者調書	③	**※原本１部および原本と同一サイズのコピー４部、左上ホチキス留め** 写真貼付欄に写真（写真票と同一のもの）を貼付し、必要事項を漏れなく記入してください。
4．成績に関する確認書	④	成績通知書等をもとに、６ページの出願資格(5)の要件を満たしているかを確認し、正確に記入してください。
5．出願書類確認票	⑤	出願前に、提出書類を確認したうえで記入してください。
6．調査書		**※厳封** 生徒指導要録に基づいて高等学校第３学年第１学期（２期制の場合は第３学年前期）までの資料によって作成してください。また、次のページの≪調査書作成上の注意≫も参照してください。 「全体の学習成績の状況」は正しく算出してください。
7．高等学校の卒業（見込）証明書		**※厳封** 調査書に「卒業（見込）」の記載がある場合は不要です。
8．振り替え表と説明資料	⑥	科目の振り替えがある場合は、カリキュラム・授業内容等を説明する資料（シラバスや年間授業計画表など）も併せて提出してください。

※所定用紙は白色のA4用紙に縦向きで片面印刷してください。

※自筆で記入する書類は、すべて黒または青のペン（ボールペン可、消えるペン・鉛筆は不可）を使用して丁寧に記入してください。

※「成績に関する確認書」における科目の評定値とは、提出可能な最近の調査書もしくは成績通知書の各科目欄に記入されている５段階（５、４、３、２、１）の値です。また、10段階で記入されている成績通知書の場合は、次のように読み替えて計算してください。

10段階評定値	10，9	8，7	6，5	4，3	2，1
５段階評定値	5	4	3	2	1

成績の評定にこれ以外の方式が用いられている場合には、アドミッションズ・オフィスにご相談ください。

《調査書作成上の注意》（高等学校の先生方へ）

※履修中の科目については、調査書の各教科・科目の学習の記録欄に見込み評定およびその見込みを含めた修得単位の合計を記入してください。見込み評定された科目に関しては、基準評定までに科目内容を十分に修得し、見込み評定が達成されるようにご指導をお願いします。

※次の場合は、調査書を高等学校独自の科目名で作成し、**振り替え表（以下の作成例をご参照ください）とカリキュラム・授業内容等を説明する資料（シラバスや年間授業計画表など）を提出する**ことで、出願資格⑸②および③の科目の内容を修得したものとして振り替えることが可能です。

a.「数学探究」、「物理概論」、「理系化学」、「総合英語」などの独自の科目名称により履修し、出願資格⑸②および③のすべての科目内容を修得している場合

b. スーパーサイエンスハイスクールなど、高等学校独自の理数系科目に重点をおいたカリキュラムにおいて、カリキュラム独自の科目名称により履修し、出願資格⑸②および③のすべての科目内容を修得している場合

c. 中高一貫教育を実施している高等学校において、出願資格⑸②および③の科目の内容を中学校等で先行して履修し、調査書に記載の科目が不足している場合

その他、高等学校独自のカリキュラムにより、単位振り替え・振り分けが困難な場合など、出願資格要件に関する質問があれば、アドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

＜振り替え表作成例＞

数　学

振替対象	＜高等学校の科目＞ 調査書上の科目名	学年	単位	＜当学部の履修指定科目＞ 数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	数学C
				評定					
○	理数数学Ⅰ	1	5	5			5		
○	理数数学Ⅱ	2	4		4				
○	理数数学特論	2, 3	5			5		4	
○	理数数学Ⅲ	3	3						4
（単位数合計）			17						

理　科

振替対象	＜高等学校の科目＞ 調査書上の科目名	学年	単位	＜当学部の履修指定科目＞ 物理基礎	物理	化学基礎	化学
				評定			
	物理基礎	1	2	5			
○	物理概論	2	2		5		
	物理	3	3		5		
	化学基礎	1	2			5	
	化学	2	3				4
○	化学特講	3	3				5
（単位数合計）			15				

英　語

振替対象	＜高等学校の科目＞ 調査書上の科目名	学年	単位	＜当学部の履修指定科目＞ 英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ
				評定	
○	総合英語	1	3	5	
○	英語理解	2	4		5
	英語コミュニケーションⅢ	3	4		
	論理・表現Ⅰ	1	2		
	論理・表現Ⅱ	2	2		
（単位数合計）			15		

Ⅳ　選考・合格発表

1.　選考方法と日程

【第１次選考】

提出された書類により選考を行います。

【第１次選考合格発表】

2025年10月24日（金）　午前10時

Web サイトで発表します。合否確認方法は、受験票発送時に出願者にお知らせします。

※合否結果に関する問い合わせには一切応じられません。

【第２次選考】

第１次選考合格者に対して、論理的な思考を問う総合審査を行います。ただし、化学科は第２次選考を行いません。

学　科	基礎力審査	応用力審査
電気情報工学科	数学の基本的な考え方を問う筆記問題	課題解決型記述問題（物理、数学およびそれらの応用）（学習指導要領の範囲内）
数理科学科	数学の基本的な考え方を問う筆記問題	数学的な思考を問う記述問題
化学科	実施しない	実施しない

2025年12月６日（土）　午前９時30分集合　午前10時～12時頃 審査

試験場：矢上キャンパス（集合場所は、当日創想館１階に掲示します）

神奈川県横浜市港北区日吉３－14－１

※受験票を必ず携帯してください。

※審査開始後の入室・受験は一切認められません。ただし、公的交通機関の遅延などの場合はその限りではありません。

※当日の諸注意については次のページを参照してください。

【第２次選考合格発表】

2025年12月６日（土）　午後８時

Web サイトで発表します。合否確認方法は、受験票発送時に出願者にお知らせします。

※合否結果に関する問い合わせには一切応じられません。

【第３次選考】

第２次選考合格者（化学科は第１次選考合格者）に対して、面接試験を行います。

学　科	面接時間	質問内容
電気情報工学科	一人20分程度	物理、数学およびそれらの応用、志望動機や興味などについて
数理科学科	一人20分程度	数学的な考え方、および志望動機や興味などについて
化学科	一人40分程度	志望動機や化学全般、その他（物理、数学など）について

2025年12月７日（日）　午前９時30分集合　午前10時面接開始（午後16時頃終了予定）

試験場：矢上キャンパス（集合場所は、当日創想館１階に掲示します）

神奈川県横浜市港北区日吉３－14－１

※受験票を必ず携帯してください。

※面接開始後の入室・受験は一切認められません。ただし、公的交通機関の遅延などの場合はその限りではありません。

※面接は、受験生により終了時刻が異なります。午後になる可能性も踏まえて，**昼食を持参してください。**

【第３次選考合格発表（最終合格発表）】

2025年12月12日（金）　午前10時

Webサイトで発表します。合否確認方法は、受験票発送時に出願者にお知らせします。

※合否結果に関する問い合わせには一切応じられません。

※第２次選考当日の諸注意

⑴　試験当日は以下の所持品を持参してください。筆記用具の貸し出しは行いません。

◯ 試験中に使用を認めるもの

物　　品	備　　考
鉛筆	黒（「HB」「B」）
シャープペンシル	黒（「HB」「B」）および替芯とそのケース
消しゴム	
鉛筆削り	電動式・大型のもの・ナイフ類を除く
時計	辞書や電卓等の機能があるもの・秒針音のするもの・大型のものを除く
眼鏡	
マスク	
ハンカチ	
ティッシュペーパー	袋または箱から中身だけ取り出したもの
目薬・点鼻薬	

× 試験中に使用を認めないものの例

物　　品	備　　考
電子通信機器	携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、ウェアラブル端末、イヤホン等
音を発するもの	携帯電話、携帯音楽プレーヤー等
時計やストップウォッチのアラーム機能や時報機能	これらの機能は試験前に必ず解除してください
定規	定規の機能を備えた鉛筆等を含む
コンパス	
翻訳機、電子辞書、電卓、そろばん	
右に記載するペンや鉛筆等	ボールペン、赤ペン、色鉛筆、万年筆、色マーカーペン（蛍光ペン等）
付箋	
ペンケース	
耳せん	
飲食物	飴、ガム、ペットボトル飲料等を含む

※受験票のほか、「試験中に使用を認めるもの」以外の所持品を机上に置くことはできません。

⑵　試験監督者、係員の指示に従ってください。

⑶　携帯電話・スマートフォン・タブレット端末やウェアラブル端末（スマートグラス・腕時計型等）・イヤホン等の通信機器は身につけてはいけません。電源を切ってかばん等の中に入れてください（あらかじめ電源が切れることを確認しておいてください）。電源を切れない通信機器の試験教室への持ち込みはできません。また、アラーム機能等により鳴動する可能性がある通信機器は、鳴動しないように設定したうえで電源を切ってください。試験中にこれらの通信機器や時計等の音・振動等が発生し、発生源のかばん等が特定できた場合、持ち主の同意なく試験監督者が試験教室外に持ち出すことがあります。なお、これらの通信機器を時計として使用することはできません。**試験教室に時計はありませんので各自で持参してください。**

⑷　試験時間中、上着を脱ぐことは可能です。帽子、サングラスの着用は認めません。その他着衣について、試験監督者から指示があった場合は従ってください。

⑸　座布団、ひざ掛けを使用したい場合は、試験監督者の指示を受けたうえで使用することができます。

⑹　耳せんは、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。

⑺　受験する教室（試験教室）は、受験番号によって割り当てられますが、施設、建物、階数などによって、教室の大きさや室温等の環境は異なります。また、机、椅子、空調、遮光設備、音響設備等の試験教室による相違は一切考慮いたしません。

⑻　生活騒音（航空機、自動車、風雨、空調、換気扇、動物の鳴声、周囲の受験生の咳・くしゃみ・鼻をすする音・貧乏ゆすり、携帯電話・携帯音楽プレーヤーの鳴動等）が発生した場合に、特別な措置は原則として行いません。

⑼　身体の具合が悪くなったときは、試験監督者に申し出てください。救護室での休憩は認めますが、その分の試験時間の延長はできません。試験監督者、係員の指示に従ってください。

⑽　明らかに体調の悪い（咳き込んでいるなどの）場合や、試験監督者または係員が体調不良者と判断

した場合は、試験中であっても即座に救護室での診断を指示することがあります。その際、試験中であっても移動、診察等に伴う試験時間の延長は認めません。試験監督者、係員の指示に従ってください。

⑾　救護室における医師の診断等に基づき、試験の続行が難しいと判断される場合には、受験を中止していただくことがあります。この場合、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

⑿　隣席の受験生の用便や、体調不良による入退室のため、試験監督者の指示により、席を立っていただくことがあります。

⒀　以下に例示した行為をすると、不正行為となることがあります。不正行為の疑いがある場合には、試験監督者、係員が注意もしくは事情を聴取することがあります。その際に要した分の試験時間の延長はできません。**不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、当該学部の入学試験および当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、入学検定料も返金しません。**

・志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
・試験会場内において、試験監督者、係員等の指示に従わないこと。
・試験会場内において、他の受験生の迷惑となる行為をすること。
・試験会場内において、大学の備品、施設、設備等を故意に汚したり、傷つけたりすること。
・試験開始の合図、もしくは試験監督者の試験開始の指示の前に問題冊子を開くこと、記述を始めること。
・試験中に、携帯電話・携帯音楽プレーヤー・ウェアラブル端末・イヤホン等を身に付けていること。
・試験中に、携帯電話・時計・携帯音楽プレーヤーの音（着信音、アラーム、振動音等）を鳴らすこと。
・試験中に、使用を認められていない用具を使用して記述すること。
・試験中に、カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験生の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
・試験中に、答えを教える等の他の受験生を利するような行為をすること。
・試験終了の合図、もしくは試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、記述を続けていたりすること。
・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

⒁　解答用紙には、所定の欄以外、表裏とも何も書いてはいけません。下書きのためにも使用はできません。解答用紙は再交付しません。

⒂　**本学が指示する記述方法に従わなかった場合、採点・評価が正常にできない場合があります。**

⒃　試験当日、最寄りの駅や大学付近などで、パンフレット類の配布や各種勧誘等を行っている者がいても、本学とはなんら関係がありません。したがって、これらに関するトラブルや事故が生じた場合でも、本学は一切責任を負いません。

⒄　試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生や試験監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として追試験などの措置、入学検定料の返金は行いません。

V　入学手続・入学に必要な費用

1.　入学手続期間と入学手続

第３次選考合格者には入学手続に関する案内を郵送します。入学手続は、「入学に必要な費用」（以下参照）の振込と Webサイト上での必要事項の入力などにより完了します。

入学手続期間　2026年１月５日（月）～ ９日（金）

必ず手続期間内に定められた手続を完了してください。なお、入学手続に際しては「インターネット環境」、「印刷環境」、「角形２号（角２）封筒」、「証明写真（顔写真）データ」などが必要です。手続書類および手続方法の詳細については、本学から送付する案内を参照のうえ、Webサイト上に掲載される「入学手続要項」を確認してください。

2.　入学に必要な費用

2026年４月入学者の学費は2025年11月下旬に決定後、合格者に通知いたします。なお、参考のため、2025年度の学費を以下に示します。

種　　別		金額（単位：円）
学費	入　学　金	**200,000**
	在籍基本料	70,000
	授　業　料	1,390,000
	施設設備費	250,000
	実験実習費	120,000
その他の費用	学生自治会費	750
	学生健康保険互助組合加入費	100
	同　　組合費	2,500
合　　計		**2,033,350**
（分納の場合の春学期分）		(1,116,725)
（分納の場合の秋学期分）		(916,625)

備　考

1　入学金および学生健康保険互助組合加入費は、初年度のみ徴収します。

2　備考１を除く学費およびその他の費用は、春学期・秋学期の２回に分けて納入することができます。

3　本大学が委託されて徴収する「その他の費用」は、在学中必要に応じて改定されることがあります。

4　入学後、いくつかの特定科目の履修に際しては、若干の費用を徴収することがあります。

5　納入した費用は、原則として返還しません。ただし、入学金以外の「学費」ならびに「その他の費用」については入学手続後に返還する場合があります（詳細は「入学手続要項」を参照してください）。

スライド制の適用について

本学は学費のうち在籍基本料、授業料、施設設備費ならびに実験実習費については、在学中学則に定めるスライド制を適用し、毎年定められた額を納入することになりますので、あらかじめご承知おきください。なお、適用するアップ率は、スライド率（前年度人事院勧告による国家公務員給与のアップ率等）を基準といたします。

Ⅵ　奨学金・経済支援制度

勉学の意欲を持ちながらも、経済的に修学が困難で、かつ成績・人物ともに優秀な学生に対し、本大学には以下のような奨学金・経済支援制度があります。

(1)「慶應義塾大学給費奨学金」
(2)「慶應義塾創立150年記念奨学金（海外学習支援）」
(3)「慶應義塾維持会奨学金」
(4)「メンター三田会理工奨学金」
(5)「指定寄付奨学金」（卒業生団体の理工学部同窓会、三田会等）
(6)「慶應義塾大学修学支援奨学金」（家計急変、継続的な困窮者の援助目的）
(7)「民間団体奨学金」
(8)「日本学生支援機構奨学金」

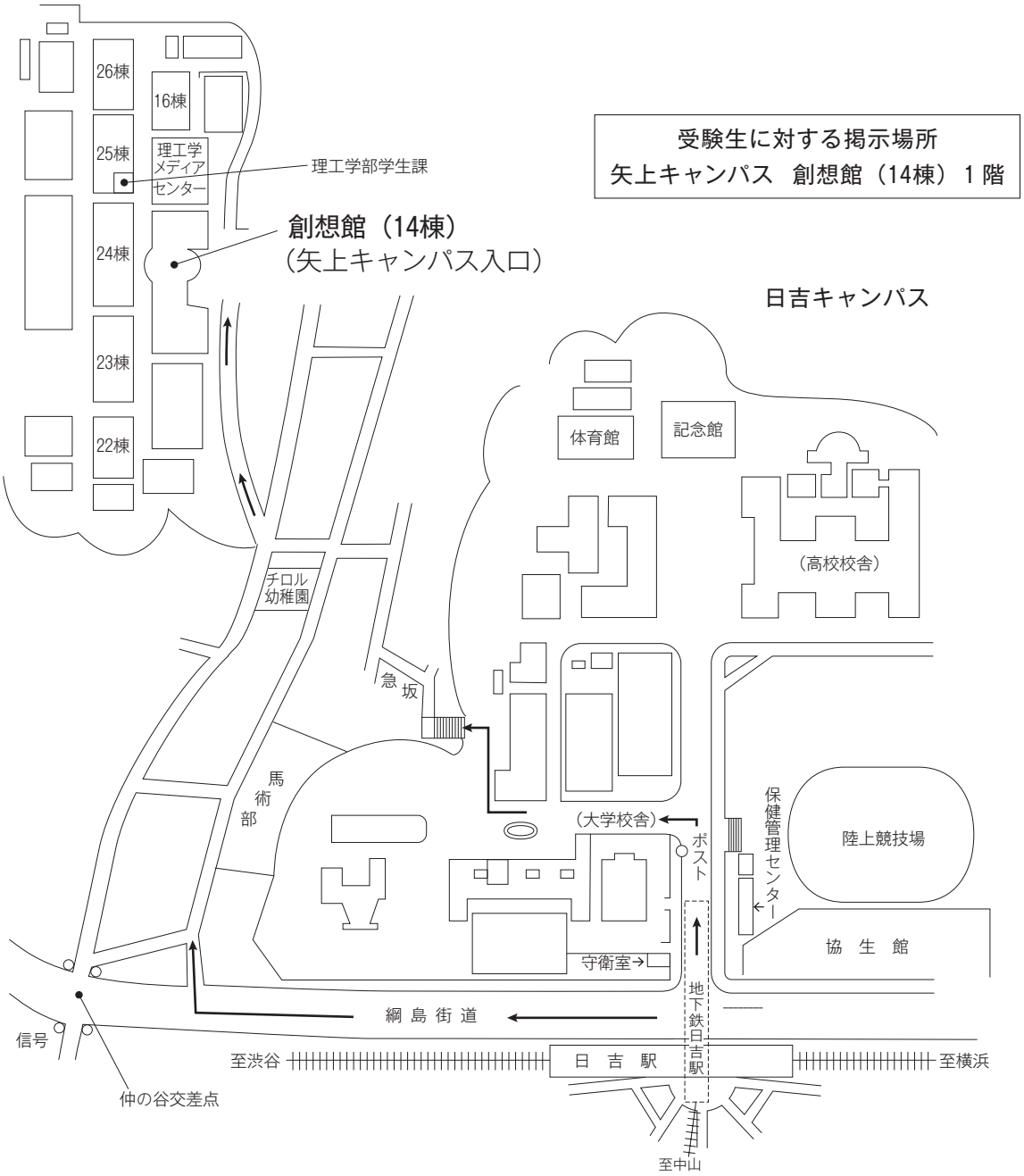
いずれも３月以降に募集の都度、奨学金公募情報一覧にWeb上で掲示されます。

名　　称	種　　別		金　　額（2024年度）	期 間	採用人員（2024年度実績）	備　　考
慶應義塾大学給費奨学金	給　付		年額 250,000円～500,000円	１年	44 名	２年生以上、毎年出願可能
慶應義塾創立150年記念奨学金	給　付		年額 400,000円	年１回	３名	海外短期留学、国際学会発表等が対象
慶應義塾維持会奨学金	給　付		年額 800,000円	１年	32 名	毎年出願可能 首都圏以外の道府県出身者優先
メンター三田会理工奨学金	給　付		年額 600,000円	１年	１名	
指定寄付奨学金	給　付		年額 100,000円～600,000円	１年	33 名 （11団体）	毎年出願可能 学年・出身地など資格が限られる場合がある
慶應義塾大学修学支援奨学金	給　付		年額 150,000円～250,000円	１年	14 名	毎年出願可能
民間団体奨学金	給　付		年額 100,000円～2,220,000円	１年または最短修業年限（財団によって異なる）	119 名 （55団体）	学部・出身地など資格が限られる場合がある
日本学生支援機構奨学金	貸与	第一種	自宅通学 月額　20,000円～54,000円 自宅外通学 月額　20,000円～64,000円 （いずれも選択可）	最短修業年限	144 名	無利子
	貸与	第二種	月額　20,000円～120,000円 （選択可）	最短修業年限	214 名	有利子
	給　付		自宅通学 月額　12,700円～38,300円 自宅外通学 月額　25,200円～75,800円 （金額は世帯の所得により決定）	最短修業年限	165 名	併せて、授業料等減免の申請も可

（注）　上表は理工学部生（１～４年生、留学生含む）のみの奨学生数です。また、民間団体奨学金にはこの他に貸与のものがあります。

上記以外に「慶應義塾大学教育ローン制度」が設置されています。
他の奨学金同様、詳細は https://www.st.keio.ac.jp/students/life/ を参照してください。

Ⅶ　キャンパス案内図・問い合わせ先



◆東急東横線・目黒線・新横浜線日吉駅下車

※特急電車は日吉駅には停車しませんのでご注意ください。

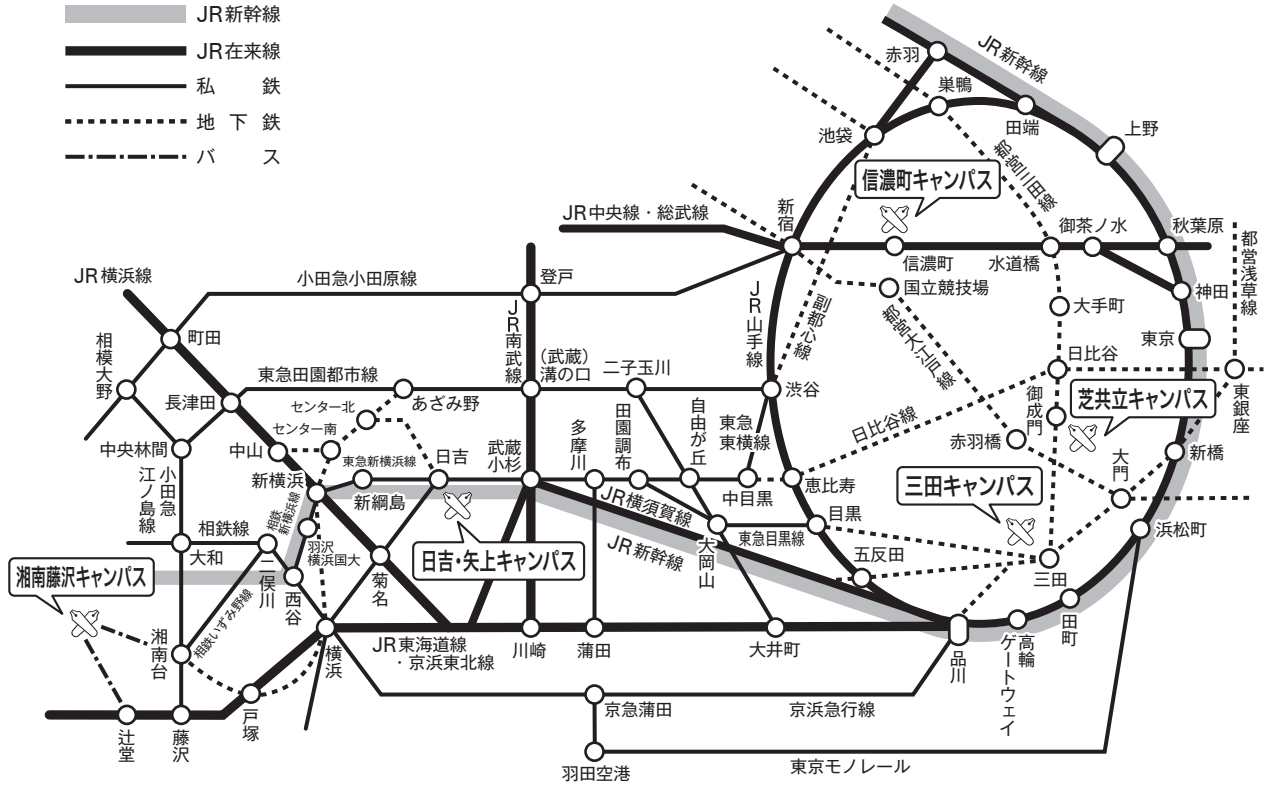
渋谷－日吉　約25分（急行または通勤特急約20分）

横浜－日吉　約20分（急行または通勤特急約15分）

新横浜－日吉　約６分

◆横浜市営地下鉄（グリーンライン）日吉駅下車

交通案内図



Webサイト　慶應義塾や理工学部に関する情報は、以下の公式Webサイトでご確認ください。

慶應義塾　https://www.keio.ac.jp/

理工学部　https://www.st.keio.ac.jp/

よくわかる慶應理工　https://entrance.st.keio.ac.jp/

理工学部概要説明動画　https://www.youtube.com/watch?v=Y642JZCc6ew

問い合わせ先：

〒223−8522　神奈川県横浜市港北区日吉３－14－１

（Tel.　045－566－1800）

慶應義塾大学理工学部学生課学事担当 内

アドミッションズ・オフィス

kym-yagami@adst.keio.ac.jp